

カタカナでどう書く？

2020年に、世界的に有名なテニス選手が引退しました。彼女の引退は、日本のメディアでも大きく取り上げられました。彼女の名前をアルファベットで書くと、Maria Sharapova です。

「シャラポワ、引退を表明」

「元世界1位シャラポワ、引退」

「記者が見た、シャラポヴァの素顔」

Sharapova をカタカナでどう書くのかは、メディアによって違いますが、「シャラポワ」と書くメディアの方が多いようでした。彼女の名前は、もともとロシア語です。ロシア語の va の発音は、日本語の「ワ」の発音に近いため、多くのメディアは「Sha シャ、ra ラ、po ポ、va ワ」と書いているようです。

一方、英語では va の発音は「ワ」ではありません。日本語にはもともと、英語の va の音を表すためのカタカナがなかったため、「バ」というカタカナをよく使っていましたが（例えば、violin をバイオリンと書きます）、最近では、「ヴァ」を使うことも多くなってきました。そのため、いくつかのメディアは、Sharapova をカタカナで書くとき、英語の発音に近い音になるように「シャラポ

ヴァ」^かと書いているようでした。

また、Ukraine という国は、日本語では「ウクライナ」と書きます。これは、
現地^{げんち}で話^{はな}されているウクライナ語^ごの発音^{はつおん}に近い^{ちか}ようです。一方、英語^{いっぽう}の発音^{えいご}に近い^{はつおん}
カタカナ^かで書くと「ユークレイン」になります。日本人^{にほんじん}は、一般的^{いっぱんてき}に Ukraine
を「ウクライナ」と書^かき、そのよう^{はつおん}に発音^{だれ}するので、もし誰^{だれ}かが I'm from Ukraine.
と言^いっても、「ユークレイン？ どの町^{まち}かな？」^{おも}と思^{おも}ってしまうかもしれませ
ん。

わたしの名前^{なまえ}「じゅんこ」は、アルファベットで書^かくと Junko です。この Junko
という文字^{もじ}だけを見^みると、ドイツ語^ごやスペイン語^ごを話^{はな}す人^{ひと}は「ユンコ」と言^いいま
す。何年^{なんねん}か前^{まえ}にスペインのバルセロナ^いに行^いったとき、バックパッカー^{やど}宿^{やど}のスタ
ッフは、私^{わたし}のこ^ことをず^ずっと「ユンコ」と呼^よんでいま^{いま}した。おもしろい^{おも}なと思^{おも}った
ので、そのまま^う受け入^いれて、バルセロナ^{あいだ}に^{あいだ}いる間^{あいだ}、わたしはず^ずっとユンコ^{ユンコ}で
した。

いろいろな国^{くに}の名前^{なまえ}や町^{まち}の名前^{なまえ}、人々^{ひとびと}の名前^{なまえ}をカタカナでどう書^かくかという
ことは、とて^{むずか}も難^{もんだい}しい問題^{どうじ}です。でも同^{こと}時^ばに、いろい^{はつおん}ろな言葉^{はつおん}の発音^{はつおん}のルール
を知^しるための、とて^よも良^きい機^き会^{かい}にもなり^{なり}ます。わたしは日本語^{にほんご}教^{きょう}師^しとして、新^{あた}
しい日本語^{にほんご}のク^くラ^らス^らがはじまる^{はじまる}た^たびに、いろい^くろな国^{くに}や町^{まち}から来^きた、いろい^くろな

なまえ がくせい であ たの
名前の学生たちと出会うのを楽しみにしています。

(949字)

(2021.10 Written by Junko SATO)



この作品はクリエイティブ・コモンズ 表示 - 非営利 - 継承 4.0 国際 ライセンスの下に提供されています。この
作品を利用する場合は、「たどくのひろば」を出典として示してください。

例) 出典: 「たどくのひろば」 (<http://tadoku.info>)

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 4.0 International License. When you use
this work, please indicate the source as in the example above.